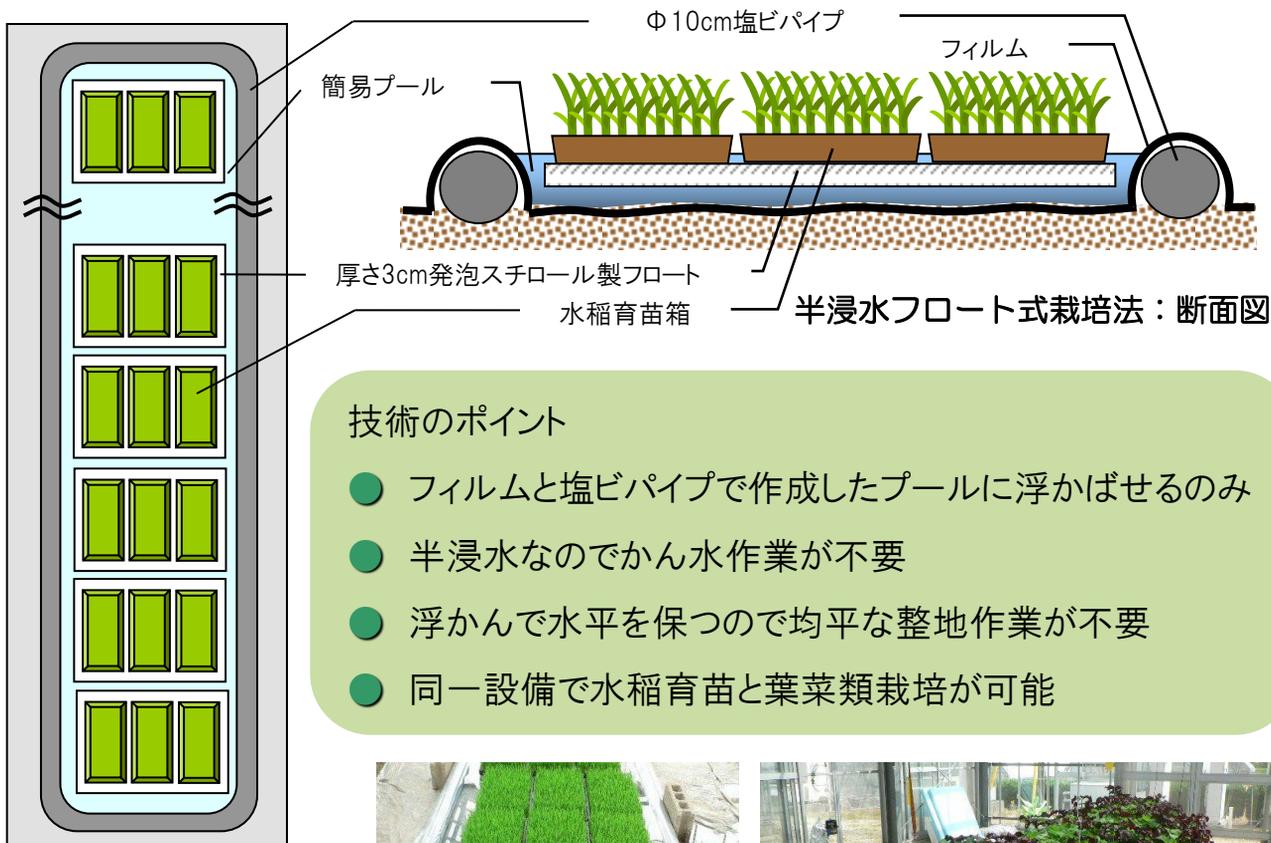


# 半浸水フロート式栽培による葉菜類栽培技術

発泡スチロール製フロートに育苗箱を載せ、半浸水状態で簡易プールに浮かばせてかん水管理する方法です。水稲育苗と葉菜類栽培を可能とし、水稲育苗ハウス遊休期間を有効活用できる技術として研究・開発中です。

- 広島県内の農業集落法人(平成H23年12月現在214法人設立)が所有する水稲育苗ハウス7.5ha以上うち約40%(3ha)が水稲育苗終了後は遊休状態
  - 稲作経営の規模拡大に伴い水稲育苗量増加  
30%の法人が育苗中のかん水管理に改善が必要と回答
  - 水稲育苗ハウス遊休期間を利用した園芸品目栽培技術の導入に求められること  
1位:設備が安価 2位:高度な技術不要 3位:作業省力化 4位:耕うん不要(元に戻すため)
- 県内集落法人へのアンケート調査(平成22年度)より



## 技術のポイント

- フィルムと塩ビパイプで作成したプールに浮かばせるのみ
- 半浸水なのでかん水作業が不要
- 浮かんで水平を保つので均平な整地作業が不要
- 同一設備で水稲育苗と葉菜類栽培が可能

半浸水フロート式栽培法:  
平面図

現在、青ジソの周年栽培と、他の葉菜類栽培について技術確立を目指し研究中です。



半浸水フロート式栽培による水稲育苗(左)とシソ栽培(右)